



第61回  
栃木県公衆衛生学会抄録集

令和5（2023）年9月5日（火）

栃 木 県 庁 昭 和 館

栃木県公衆衛生協会

栃 木 県

## 趣 旨

快適で良好な環境のもとで、生涯に渡って健やかな生活を送ることは、すべての県民の願いです。

しかし、医学の進歩、公衆衛生及び生活水準の向上にもかかわらず、健康を阻害する課題は依然として多く、適切な解決が必要とされています。

そこで、県内の公衆衛生関係者が、健康及び環境問題に対する認識を更に深め、問題解決への意欲を新たにするとともに、関係者の資質の向上と県民の公衆衛生、環境保全に対する関心を高めるため、公衆衛生大会及び公衆衛生学会を開催します。

また、救急医療及び救急業務に対する県民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図るため、救急医療週間記念大会をあわせて開催するものです。

第 6 3 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 大 会  
第 6 1 回 栃 木 県 公 衆 衛 生 学 会  
令 和 5 ( 2 0 2 3 ) 年 度 救 急 医 療 週 間 記 念 大 会

プ ロ グ ラ ム

I 公衆衛生大会・公衆衛生学会・救急医療週間記念大会式典

- 1 開 会 ( 1 0 : 3 0 )
- 2 式 辞 大会長 栃木県知事 福田 富一
- 3 挨拶 学会長 栃木県公衆衛生協会会長 稲野 秀孝  
( 栃木県医師会会長 )
- 4 表 彰 保健衛生事業功労者 知事表彰  
〃 大会長表彰  
救急医療功労者 知事表彰  
公衆衛生学会発表優秀者 学会長表彰
- 5 来賓祝辞
- 6 受賞者代表挨拶
- 7 記念講演 「だれ一人置いていかない健康づくりのための  
(Web 配信) コミュニティ・デザイン思考」  
講師／京都大学大学院医学研究科 教授  
近藤 尚己 氏
- 8 閉 会 ( 1 2 : 2 0 )

## Ⅱ 公衆衛生学会

### 1 口演発表（オンライン開催）

（13：30）

#### ① 第1会場

演題区分 疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、  
親子保健・学校保健

座長 小沼 一郎 （一般社団法人栃木県医師会副会長）

〃 阿江 竜介 （自治医科大学教授）

#### ② 第2会場

演題区分 保健所・衛生行政・地域保健、感染症、難病・障害の医療と福祉、  
親子保健・学校保健

座長 渡辺 晃紀 （県北健康福祉センター所長）

〃 内山 浩志 （獨協医科大学准教授）

#### ③ 第3会場

演題区分 感染症、ヘルスプロモーション

座長 塚田 三夫 （参事兼県西健康福祉センター所長）

〃 永井 伴幸 （栃木県薬務課長）

#### ④ 第4会場

演題区分 精神保健福祉、環境保健、その他

座長 島田 達洋 （精神保健福祉センター所長）

〃 福士 宏樹 （栃木県環境保全課長）

### 2 口演終了

（15：00）

# 第61回栃木県公衆衛生学会の会場別演題

No.欄に○印が付いているものは誌上発表

## 第1会場 (疫学・保健医療情報、生活習慣病・メタボリックシンドローム、親子保健・学校保健)

No.1～No.2 座長 小沼 一郎 (一般社団法人栃木県医師会副会長)

No.3～No.5 座長 阿江 竜介 (自治医科大学教授)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	栃木県における医療費等の状況についての考察	高沢 亮	栃木県保険者協議会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	10	13:35
2	県内の「接骨院・整骨院」を訪れた膝痛患者の分析	鈴木 勝仁	栃木県柔道整復師会	疫学・保健医療情報	13	13:45 13:55
3	胸部X線画像AI読影支援システムの構築について	岩崎 恭平	栃木県保健衛生事業団	生活習慣病・メタボリックシンドローム	16	14:00
4	カテゴリーマップー致度係数 (MapCurves法) による空間相関分析の試み —地域診断への応用を目的として—	羽金 和彦	宇都宮市保健所	疫学・保健医療情報	18	14:10
5	令和4年度における脊髄性筋委縮症および複合免疫不全症を対象とした臨床研究事業の実施状況報告	尾熊 朋子	栃木県保健衛生事業団	親子保健・学校保健	21	14:20
⑥	若年健常者を対象とした緑茶摂取による生活習慣病予防効果 —終末糖化産物 (AGEs) を指標とした検討—	高石 雅樹	国際医療福祉大学	生活習慣病・メタボリックシンドローム	24	
⑦	企業における個別保健指導について	鈴木 恭子	日光市健康課	生活習慣病・メタボリックシンドローム	27	
⑧	メタボリックシンドロームの予防・改善を支援する3・3講座 (3か月で-3kg) の取組み	小室 文音	とちぎ健康福祉協会	生活習慣病・メタボリックシンドローム	30	

## 第2会場 (保健所・衛生行政・地域保健、感染症、難病・障害の医療と福祉、親子保健・学校保健)

No.1～No.3 座長 渡辺 晃紀 (県北健康福祉センター所長)

No.4～No.5 座長 内山 浩志 (獨協医科大学准教授)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	多職種・多部門と連携した、新型コロナウイルス感染症流行時における保健所業務の支援に係る動員者の研修の有用性と課題	小篠 智江	栃木県保健環境センター	保健所・衛生行政・地域保健	34	13:35
2	安足健康福祉センターにおける新型コロナウイルス感染症対応～OODAループを用いた振り返り～	若林 知美	栃木県安足健康福祉センター	感染症	37	13:45
3	新型コロナウイルス感染症の入院調整等からみた地域包括ケアシステムの課題	奥山 啓子	栃木県県南健康福祉センター	感染症	40	13:55 14:05
4	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症対応力向上のための取組と保健所の役割	舟迫 香	栃木県県北健康福祉センター	感染症	43	14:10
5	災害時個別支援計画作成における関係機関との連携の重要性	桜井 万弓	栃木県県北健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉	46	14:20
⑥	保健所の感染症対応への受援にかかる流行状況を予測する簡易モデルの考案と検証	中村 剛史	栃木県県南健康福祉センター	保健所・衛生行政・地域保健	49	
⑦	県南圏域における医療的ケア児に係る「圏域の協議の場」での取組	宮古 真奈美	栃木県県南健康福祉センター	難病・障害の医療と福祉	52	
⑧	学齢期における学校での肥満指導について～フォローアップ事業～	藤井 美穂	日光市健康課	親子保健・学校保健	55	

### 第3会場 (感染症、ヘルスプロモーション)

No.1～No.3 座長 塚田 三夫 (参事兼県西健康福祉センター所長)

No.4～No.5 座長 永井 伴幸 (栃木県薬務課長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	県南保健所で経験した喀痰塗抹陽性患者2事例から考える保健所の結核対策について	上野 和沙	栃木県県南健康福祉センター	感染症	59	13:35
2	県南保健所の性感染症検査における梅毒の受検動向について	吉川 実里	栃木県県南健康福祉センター	感染症	62	13:45
3	安足健康福祉センターにおけるHIV・性感染症検査についての考察	石川 京美	栃木県安足健康福祉センター	感染症	65	13:55 14:05
4	栃木県内で検出されたSARS-CoV-2(新型コロナウイルス)の分子疫学解析【第二報】	関川 麻実	栃木県保健環境センター	感染症	68	14:10
5	栃木県内で検出されたエンテロウイルスの分子疫学	齋藤 明日美	栃木県保健環境センター	感染症	71	14:20
⑥	関係機関との連携による高齢化集落巡回相談・講座事業について	佐久間 浩美	日光市健康課	ヘルスプロモーション	74	
⑦	人生100年フレイル予防プロジェクト ー各関係機関や団体等と連携したフレイル予防対策の推進ー	池内 寛子	栃木県健康増進課	ヘルスプロモーション	77	

## 第4会場 (精神保健福祉、環境保健、その他)

No.1～No.2 座長 島田 達洋 (精神保健福祉センター所長)

No.3～No.5 座長 福士 宏樹 (栃木県環境保全課長)

No.	演題	発表者名	発表者所属	区分	頁	予定時刻
1	精神疾患を持つ対象者へのクライシスプランの作成と活用を通して見えた成果と課題について	益子 真実	栃木県県北健康福祉センター	精神保健福祉	81	13:35
2	栃木県矢板健康福祉センターにおける「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム(にも包括)」の取り組みについて	新井 香織	栃木県矢板健康福祉センター	精神保健福祉	84	13:45 13:55
3	ヒートアイランド現象が県民生活に及ぼす影響について	若色 孝子	栃木県気候変動適応センター	環境保健	87	14:00
4	中外製薬工業株式会社 品質改善プログラム「Q-Plan」の活動紹介	伊藤 亮太	中外製薬工業株式会社	その他	90	14:10
5	歯科治療器具生産として包装ミスの撲滅に向けた活動	塩入 睦紀	マニー株式会社	その他	93	14:20
⑥	湯ノ湖の湧水に関する研究	桐原 広成	栃木県保健環境センター	環境保健	95	



## 注 意 事 項

### 1 発表される方へ

- ① 発表の順序及び発表者の変更は、原則として認めません。
- ② 「次演者席」が設けてありますので、あなたの前の発表が始まると同時に「次演者席」に着席してください。
- ③ 発表時間は8分以内です。質疑討論時間は2分以内です。
- ④ 時間の経過はベルでお知らせします。  
(7分経過：ベル1回 8分経過：ベル2回 10分経過：ベル3回)
- ⑤ パソコン等の機器操作は、発表者側で行ってください。

### 2 質疑される方へ

- ① 発表に関する質問、意見を述べる時は、必ず座長に従ってください。
- ② 質疑討論は一括して行う時もあります。
- ③ 発言する場合は、所属・氏名を述べてください。
- ④ 質疑討論時間は、1題につき2分以内です。

### 3 御参加の皆様へ

#### 【会場】

- ① 事前申込みをされている方のみ、会場で聴講いただけます。事前申込みをされていない場合、会場への入場をお断りすることがあります。
- ② 会場敷地内は禁煙となっております。
- ③ 携帯電話は、電源を切るかマナーモードにする等、音が出ない状態にしておいてください。

#### 【Web 配信】

- ① Zoom Cloud Meetings を使用しますので、事前にパソコン等へのインストールをお願いします。
- ② 口演発表中はマイクを OFF にしてください。質疑がある時は、座長の指示に従い、マイクを ON にして質疑してください。
- ③ Zoom Cloud Meetings の操作方法に関する御質問やお問い合わせにつきましては、事務局ではお受けできませんので、何卒御了承の程よろしくお願いたします。
- ④ 聴講者宛てにお知らせしているミーティング URL 及びミーティング番号は、学会当日以外は、絶対に使用しないでください。